



“ホット”なネットワーク!

かんちゃん通信 第13号



もみじ号 2019年11月15日発行

かんちゃんの小さな家 5周年を迎えました♪

「かんちゃんの小さな家(の活動)」を色で表すと?

3~4ページを
ご覧ください

(オレンジ色)「心が休まる居場所のイメージから、夜の家庭の明かりを感じました。」

(レインボー・虹色)「子どもにとって、未来につながるかけはしのような活動だから。」

(みず色・青色)「落ち着いた対応をしてもらえる。クールダウンできる場所というイメージだから。」

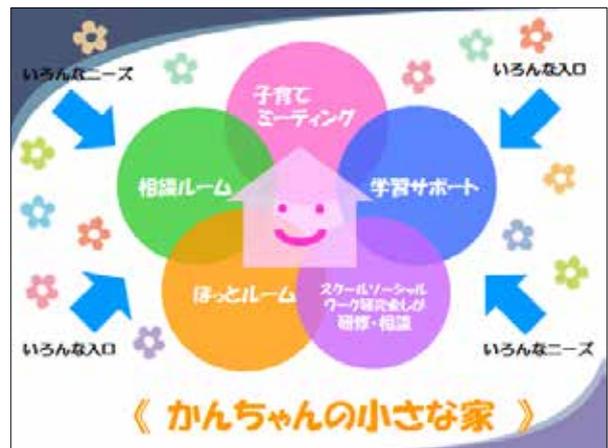
238通の「一言メッセージ」ありがとうございました!

あたたかい応援のエールに

子ども・若者の支援

込められた“思い”...

今の社会に必要なこと!



◆多くの皆さまに支え・育ててもらって、おかげさまで「かんちゃんの小さな家」が、この秋で5周年を迎えました。「居場所」「多文化共生」「地域コミュニティ(地域福祉)」をキーワードとして、「この指とまれ」的に主体的な活動や支援事業をすすめてきました。(ホットルームの交流事業や相談・学習サポートの個別支援活動等)◆よせられた「一言メッセージ」は、読めば読むほど“ニーズがすごく詰まっている”ことに気づかされ、まさしく今日の地域社会に求められている大切な要素、そして課題だと感じました。◆「かんちゃんの小さな家」の、これからの“活動の道しるべ”に!と思っています。等身大の活動を息長く続けていきます。



(2)

かんちゃんホットルーム(多文化共生・地域交流会)

子どもをまん中に 2019年の夏から秋も 多彩な活動を展開♪

8月

西の湖の「ヨシ」を使ったクラフトを楽しみました♪スタッフが子どもとペアになって、子どものイメージを引き出すサポート役になってすすめました。右の写真は9月末日の「ヨシ灯り展」。私の「ヨシ灯り」、とってもいい感じ(^_^)♪



9月

世界のいろいろな「ことば」を手がかりに、グループで相談しながら“ぬり絵ゲーム”を完成させていきました。

多文化共生をテーマにしたワークショップをみんなで体験！またやりたいね♪



スープ(ミネストローネ)
おいしかったね♪

2019年度 かんちゃんホットルームの活動より

2019年度	アクティビティ (内容)	昼食交流	参加者
第37回 5月	サムルノリの演奏やお話～朝鮮半島の民族打楽器を体感！そして体験！しました～	チヂミ(グループごとに焼きながら交流会)	38人
第38回 6月	世界の楽器や文化を楽しもう～「音の絵」を描こう！不思議な体験と調理をしました～	ポルビアの家庭料理「サイセ」	43人
第39回 7月	かんちゃんあそび村(パート3)～各コーナーで日本・世界のあそびを自由に体験しました～	ブラジル風のホットドック、かき氷	35人
第40回 8月	西の湖の「ヨシ」を使ったクラフト～子どもとスタッフがペアになって作りました～	カレーライス・ゼリー	34人
第41回 9月	「ここは、何色？」～世界の「ことば」…子どもとおとなが一緒になって考えました～	エスフィーハ、ミネストローネ、ブラジルのスイーツ	36人

◇会場は「安土コミュニティセンター」「常楽寺老人憩いの家」「愛宕町集会所」で開催

◇時間は、10:30～13:00(昼食交流会含む) ◇開催日は土曜日 or 日曜日

「かんちゃんの小さな家」に寄せられた 238通の「ひと言メッセージ」



あなたにとって 「かんちゃんの小さな家」(の活動)・・・色で表すと? イメージする色は?



① オレンジ (60人)

「あたたかさ」「ホッとできる」
「めくもり」「心休まる居場所」

- ◇心が休まる居場所のイメージから、夜の家庭の明かりを感じました。
- ◇温もりが感じられる空間だと思ったから。
- ◇小さいっぱいのオレンジの実があるように思えた。
- ◇オレンジ色は、パワーがあって明るくなる。
- ◇多文化・多国籍・多世代、すべてをありのままに受け入れてくれるあたたかい場所だから。
- ◇子どもやおとなが、安心して自分の悩み、思いを相談できる場所だと思いました。
- ◇子どもとおとなが楽しく人生を学ぶ。太陽の下で生きるパワーをイメージした。
- ◇いろんなあそびができるから。
- ◇こたつでみかんを食べているイメージ、あたたかいイメージがした。

寄せられた238通(人)が「イメージする色」

①	オレンジ	60通(人) (25%)
②	みずいろ・あお	39 (16%)
③	レインボー・虹色	38 (16%)
④	ピンク	25 (11%)
⑤	黄色	19 (8%)
⑥	みどり	15 (6%)
⑦	白	15 (6%)
⑧	赤・若草・きみどり・あじさい・紫・さくら色・土色・こたつ色・透明・無限・楽しみ・リリリン	

◆「かんちゃん通信」の第12号(6月)で「メッセージ」を広くお願いしました。かんちゃんホットルームや各種研修会の参加者、また、安土日本語教室の皆さんに協力していただきました。



③ レインボー・虹色 (38人)

「多様性」「いろいろな国・人・文化」「希望」

- ◇子どもにとって、未来につながるかけはしのような活動だから。
- ◇7色では足りないですね。広い視野で活動されているから。国境を越えてお互いに育ちあえるコミュニティ。
- ◇そこにいる人が「自分の色」で過ごせる場所だと感じたから。
- ◇子どもたちの自由な発想と、おとなの一步踏み出す勇気で新しい色が生まれてくる。そして素敵な色が集まる、心から楽しめる、そんな場所かなあと考えた。
- ◇いろいろな色が混ざらないで重なっている、という感じ。
- ◇多様性、多文化、多国籍、多世代。
- ◇虹を見たときの希望の持てる色をイメージした。



② みずいろ・あお (39人)

「さわやか」「明るい」「つながり」

- ◇さわやかな風が吹き込んでいる。晴れた空(どこまでも続いている空)をイメージした。
- ◇大きな地球のつながりをイメージしました。きれいなみずいろ。
- ◇落ちついた対応をしてもらえる。クールダウンできる場所というイメージだから。
- ◇いやし、さわやかな感じ。
- ◇いろいろな体験ができるから。
- ◇未来に向かって子どもたちを支え、育てていかれる姿!!
- ◇だんだんといろんな色を混ぜると濃い色(深い)になっていくような。



④ ピンク (25人) 「あたたかい」「やさしい」「ホッとできる」「おだやか」

- ◇心の色、ポカポカあたたかなイメージ。
- ◇今日のかき氷のいちご色から連想しました。日常の中の、ちょっとすてきな非日常が、かんちゃんホットルームです。
- ◇本人を否定されない、人として尊重してもらえ、認めてもらえる場所だから。
- ◇老若問わず好きな色。言葉が違って、だれもが集える色。
- ◇地域や多くの方がつながりあって、つくっておられることに、暖かいやさしいイメージ・印象を受けました。
- ◇とっても暖かい味があり、いやされ、参加者も近づきやすさを感じます。

一人ひとりに呼応し

ますますカラフルな色合いを放つ場所に♪

～「手探り」の強み?を大切に～



かんちゃんの小さな家:相談スタッフ
中桐 万里子さん(京都市)

かんちゃんの小さな家の5年間(準備期間を入れたら6年間?)。そこには、ゴツゴツいろんなぶつかり、オロオロいろんな動揺、ジーンといろんな感動、んんん??ないろんな謎への悩ましき、ゲラゲラいろんな大笑い…と、わたしが知っているだけでも、ずいぶん多くのドラマがつまっています。

立ち上げのときからかかわっていますが、この場所は変わらず「手探り」だなあと感じます。堂々と言うべきではないかもしれませんが(^;)が、わたしは、それがかんちゃんの小さな家のつよさ?だと思っています。やってくるできごと、子どもたち、ご家族、地域の方々…と向き合い、「なにがベストだろう」と、一回ごとに考え、真剣に模索しています。

ある方いわく「スポーツは、人類や文明の発展に必要な不可欠なもの」だそうです。正直、(ひどく運動が苦手ゆえ(^;)?)スポーツは単なる娯楽だと信じていたわたしには、これは新鮮な響きでした。その方はおっしゃいました。「大切なのは、勝ったか負けたかじゃない。より早く、より高く、より強く、より遠くへ…。それこそ、スポーツの神髄です」と。どんなに優れた選手でも「より…」をまな

ざし、懸命に練習を重ねる。損得も妥協もない、ただひたむきな姿。それが観るひとに感動を生み、それぞれに「自分もがんばろう」の勇気を注ぎ、各現場での「より…」の想いに火をつける…と。

かんちゃんの小さな家は、スマートで効率的・効果的なサービスを提供したり、なんでもテキパキ解決できる魔法の力をもったりはしていません。イベントも、勉強会も、相談も、機関誌の発行も…。いわばすべてが手づくりで、オーダーメイドです。悩んだり、迷ったり、時につまづいて助けられたりしながら、それでもいつでも、そのひと、その場にとっての「より…」をみつめ、歩みを重ねています。それが、かんちゃんの小さな家が、子どもたちの「指導者」でなく、子どもたちと一緒に走る「支援者・伴走者」であろうと宣言するゆえんかもしれません。

かかわるそれぞれの方に呼応し、ますますカラフルな色合いを放つ場所として、これからの10年、20年へ向かえますよう。祈りを込めて、まずは5年間、かかわり育ててくださった皆さまへの心よりの感謝を申し上げます。



「かんちゃんの小さな家」に寄せられた238通の「ひと言メッセージ」 (3ページより)

⑤ 黄色(19人)「明るい」「笑顔」「元気」

◇野原であそぶ感じ。 ◇黄色は元気、幸せ、明るい色です。 ◇「幸せの黄色いハンカチ」をイメージした。 ◇子どもたちのビタミンカラー ◇希望

⑥ みどり(15人)「いきいき」「新緑」「育つ」

◇小さな種が芽吹いて育っていく感じ。 ◇安全なイメージ。何でも相談できる。 ◇いきいきした感じ。 ◇大きな木のかげ、ほっとできて居心地のいい場所。

⑦ 白(15人)「子どもが主体」「育つ」

◇子どもが主体となって、自由に色付けできるような印象。 ◇どんな色でも受け入れてくれるイメージ。 ◇おとなの色に染めるんじゃない、という感じ。

⑧ 赤(8人)「楽しい」「なごやか」

◇年寄りにも明るく接していただいて嬉しく思います。 ◇子どもも大人も楽しくて、一緒にわいわいできるから。 ◇雰囲気や和やかで、子どもから元気をもらえる。

⑨ ～ 若草色・黄緑・あじさい色・紫・さくら色

◇なんでもやさしく包み込んでくれそう。 ◇かんちゃんの小さな家の活動が、これからの安土の灯台になっていくと期待しています。 ◇若芽のようにこれから育っていくことができる。

・土色・こたつ色・透明・無限・楽しみ・リンリン

◇素朴なイメージ、昔の農村の茶話会的なイメージ(土色) ◇あたたかく、一緒に囲んで話せる場所(こたつ色) ◇音楽で楽しむ、その音楽が色に変わるから(楽しみ)

交流のひろば

かんちゃんの小さな家

5周年おめでとうございます!



「かんちゃんの小さな家」5周年おめでとうございます。いつも「かんちゃん通信」を楽しみに読ませていただいています。

(公財)滋賀県国際協会では、多文化共生の地域づくりの推進や国際教育に取り組んでいます。県域を対象とした活動のため、地域住民の皆様には細やかに行き届かないことも多いのですが、「かんちゃんの小さな家」は子どもも大人も楽しめ、色々な学びのある「地域交流会」をはじめ、「子ども食堂」や「相談」そして「学習支援」など、国籍にかかわらずいつも温かく人に寄り添う、きめ細やかで地道な活動を広げてこられました。

地域にこのような「居場所」があることは本当に素晴らしいと思います。ますますの発展をお祈りしています!

光田 展子さん ((公財) 滋賀県国際協会)

かんちゃんの小さな家との出会いは、2年半前、沖縄をテーマにしたホットルームでした。三線の音色に合わせてみんなで歌ってうまれる一体感、アットホームな心地好い空気。子ども達も私も、とっても楽しいひとときを過ごすことができました。

以来、すっかりファンとなり、次はいつかと心待ちにしています。普段から子ども達には、いろんな経験をして引き出しを増やして欲しいと思っていますが、国をこえ世代をこえて、多くの方と交流できるかんちゃんの小さな家は、とても素敵な取り組みだと思います。

このような取り組みがどんどん広がって、「ちがいが」を認めあい、誰もが暮らしやすい世の中になればいいなと思います。

奥井 由香里さん (保護者)

インタビュー&メッセージ



「かんちゃんの小さな家」、私は“青色”が浮かんできました。さわやかで、やさしいイベントです。インドネシアのことを話したり、いろんな国の文化にふれることができるからです。

安土は、静かな町で住みやすいです。かんちゃんのイベントは、3年前に「ナシゴレン」を作ったときが最初でした。昨年のきぬがさ祭りでは、スタッフやボランティアの学生さんたちと「ミーゴレン」のお店を出しました。子どもも一緒に楽しく過ごし、そして全部売り切れました!(すごい!)また、たくさんの人とお友だちになって、一緒にお店を出したいです。

私は、かんちゃんの小さな家のイベントと安土日本語教室を楽しみにしています。かんちゃんの小さな家、これからも応援しま〜す!

牧 ユニーさん (保護者)

◆インタビューで、ユニーさんからメッセージをいただきました。

かんちゃんの小さな家のホットルームをのぞいてみると、地域の子どもや高齢者、外国籍の方、大学生、民生委員・児童委員、ボランティアなど様々な世代の方が、みんなで楽しい時間を過ごされています。ここに参加するだけでも、一緒に楽しい時間をすごしたり、教えたり教えられることでお互いの違いを認めあい、仲間になり、ホッとできる居場所になります。

地域の中には、ひきこもりや高齢者の孤独死、何らかの寂しさを抱えている子どもたちなど、制度だけでは対応しきれない、見えにくい課題が増えつつある中で、かんちゃんの小さな家での活動のように、家族の様なあたたかい関係づくりの重要性が高まっていると思います。

市社会福祉協議会としても、これからも応援していきたいです。

重野 弘樹さん (近江八幡市社会福祉協議会)

お知らせ

♥第2回多文化共生フェスタinあづち 2020年1月25日(土)

◇かんちゃんの小さな家と安土学区まちづくり協議会(人権・福祉部会)の共催事業として開催します。◇会場:安土コミュニティセンター大ホール
◇時間:13:30~15:50 ◇詳しい内容は、かんちゃんの小さな家のホームページに掲載します(12月)。◇皆さまのご参加をお待ちしています!



相談会のご案内

かんちゃん と まい子さんの
子ども・若者相談ルーム

子育てや学校生活・卒業後の進路等で
困ったこと、気になることがあれば
声をかけてくださいね!

12月11日(水) 13:00~17:30

1月18日(土) 13:00~17:30

2月12日(水) 13:00~17:30

定例日以外は、個別に相談に応じます。

保護者・支援の方の相談も可(要予約)

お問合せ(かんちゃんの小さな家

携帯090-3708-3315)

学びのご案内

ミニ事例学習会

第32回学習会 1月18日(土)

◇会場 かんちゃんの小さな家

◇時間 10:00~12:30

◇事前の申し込みが必要です

子育てミーティングのご案内

第4回ミーティング 12月11日(水)

◇会場 かんちゃんの小さな家

◇時間 10:00~11:30

◇事前の申し込みが必要です

「かんちゃんの小さな家 友の会」

よろしくお願ひします

個人会員 1口 2,500円・団体会員 1口 10,000円

友の会・活動支援カンパの振込口座

振込先銀行 滋賀銀行 安土支店

口座種別 普通 口座番号 403489

口座名称 かんちゃんの小さな家

代表 佐子 完十郎

♥「かんちゃんの小さな家 ホームページ」

交流会のご案内



かんちゃんホットルーム

◆参加費:子ども 100円・おとな 300円

第42回 11月24日(日) 10:30~13:00

会場 常楽寺老人憩いの家

ネパールのくらしやことは、食べもの

~お話と体験・調理(サモサ)など~

ゲスト 左近健一郎さん・千勢子さん(栗東市)

♥お昼は「サモサ(インド風の揚げギョーザ)」他

第43回 12月21日(土) 10:30~13:00

会場 安土コミュニティセンター

消しゴムで版画を掘ったりスタンプを押したりして、クリスマスやお正月のカードを作ろう

ゲスト 伊藤 真希さん(長浜市)

♥お昼はミーゴレン(インドネシアの焼きそば)だよ!

せせらぎ(編集後記)

◆5周年の節目の「特集号!」として、どんな内容を?・・・と悩んだ結果、保護者の方や関係機関の方、そして、とっても多くの皆さまからの「あたたかいメッセージ」を、そのまま掲載させていただく形で紙面を構成しました。◆「たくさんメッセージ、そして内容を読んで感動しました!」「暖色でも寒色でも『明るさ』のあるものが選ばれているね。」「私たちの思いを受けとめてもらっている!」「メッセージというよりも『励ましのエール』ですね!」・・・スタッフは、今回の編集を通して、活動への手ごたえと元気をもらいました!! ◆「かんちゃんの小さな家」の「手弁当の活動」をとおして培ってきた・・・地元の地域はもとより、市内、県内、全国との“つながり”を大切に、「手づくりでオーダーメイドの活動」(4ページのコラム参照)を、これからも地道にすすめていきたいと思ひます。(か)



※次号「第14号」は、2月後半の発行予定です!

<https://kancyan-house.com/>



ホットフィールド 子ども・若者支援 ヒューマンネット

かんちゃんの小さな家

〒521-1351 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺956-2

携帯 090-3708-3315(代表 佐子) FAX 0748-46-3283

e-mail srmq61299@nike.eonet.ne.jp

